

**エンジン (2)****CBR600RR****●ダイレクト・エア・インダクション・システム**

CBR600RR に採用した特徴的な機構の一つに、ダイレクト・エア・インダクション・システムがあります。このシステムは、マシンで最も空気圧のかかるフロントカウル中央部のエアインテークから、ステアリングヘッド脇の流路を通じて大量の空気をエアクリーナーボックスへと直接送り込むことで、エンジンパワーを効果的に生み出すことに寄与しています。

このシステムは、スムーズに大量の空気を高速で送り込むことで、ワインディングやサーキットを軽快に走行できるトルクフルな出力を生み出しています。

また、ステアリングヘッドとの間にあるガラス繊維入りポリプロピレン製の大型インテークポートエクステンションは、フロントカウルやヘッドライトを支えるのに十分な強度を確保しながらも、軽量化にも寄与しています。さらに、吸気ダクト内に配置したレゾネーターチャンバーにより、吸気音を低減させながらも、心地よい音を演出します。



正面から見たエアインテーク部

**●電子制御燃料噴射システム「PGM-DSFI」**

フロントカウル前方中央部にエアダクトが配置されたダイレクト・エア・インダクション・システムにより吸入される大量の空気と、インジェクターから噴射される燃料を制御し、様々な回転域においても最適な混合気を供給する電子制御燃料噴射システム PGM-DSFI により、俊敏なスロットルレスポンスと高効率な燃焼を実現しています。常用回転域での最適な燃焼を実現するため、高精度な 32 ビット ECU のプログラムを搭載しています。

このシステムは 1 気筒あたり 2 基のインジェクターを備え、一定のエンジン回転域まではロアインジェクターのみが作動し、スロットル開度が 25% 以上、エンジン回転数が 4600rpm を超えると、アッパーインジェクターも作動します。空燃比制御にも優れており、排出ガス再燃焼機構のエアインジェクションシステムや大容量ツインキャタライザーシステムとの相乗効果により、高い環境性能を実現しています。